

報道機関各位

日本赤十字社埼玉県支部

令和8年6月8日

浦和レッズ選手が「命を守る赤十字」を体験

～AEDを用いた救急法・エアーテント設営・炊き出しに挑戦～

日本赤十字社埼玉県支部(さいたま市浦和区)は、浦和レッドダイヤモンズ株式会社(浦和レッズ)との連携協定に基づく取組の一環として、浦和レッズ選手による支部訪問を実施します。

本訪問は、「人間を救うのは、人間だ。」という赤十字のスローガンのもと、人が人を支えることの大切さを地域へ発信するとともに、今後の更なる協働につなげることを目的として実施するものです。

当日は、荻原拓也選手、田中義峯選手がAEDを用いた救急法や臨時救護所(エアーテント)の設営、炊出し、大型災害救援車両への乗車などを体験し、人間のいのちと健康、尊厳を守る赤十字活動への理解を深めます。

また、今後の連携事業についても紹介し、ホームゲーム会場等における赤十字ブース出展、防災イベント、救急法講習会、熱中症予防啓発、献血推進など、地域における協働の輪をさらに広げていきます。なお、当日の様子は動画コンテンツとして編集し、日本赤十字社埼玉県支部及び浦和レッズ双方の情報発信媒体を通じて発信する予定です。

■ 見どころ

- 浦和レッズ選手がAEDを用いた救急法に挑戦
- エアーテント設営や炊出しを通じて災害時の支援活動を体験
- 大型災害救援車両への乗車体験
- 共同メッセージ「人間を救うのは、人間だ。」を発信
- 選手自らが「命を守る赤十字」の現場取材しSNSで発信

■ 概要

【日時】令和8年6月10日(水) 10:30～11:30

【会場】日本赤十字社埼玉県支部
(さいたま市浦和区岸町3-17-1)

【来訪選手】・荻原拓也(おぎわら たくや)選手
・田中義峯(たなか よしたか)選手

【内容】

第一部 10:30～11:10

選手による赤十字活動の体験

- (1) AEDを用いた救急法体験
- (2) 臨時救護所(エアーテント)の設営体験
- (3) 炊出し(アルファ化米づくり)体験
- (4) 大型災害救援車両乗車体験
- (5) 共同メッセージ「人間を救うのは、人間だ。」を発信

第二部 11:10～11:30

選手による体験レポート(SNS動画収録)

「レッズ選手が聞いてみた！

命を守る赤十字の現場とは？」

【SNS収録内容】

- ・赤十字って災害時に何をしてるの？
- ・救援車両やエアーテントは、実際にどんな場面で活躍するの？
- ・もし目の前で人が倒れたら、私たちはどう行動すればいいの？



26 荻原 拓也
OGIWARA Takuya
DF (HG)
1999年11月23日 (26歳)
175cm / 73kg



42 田中 義峯
TANAKA Yoshitaka
DF
2008年4月5日 (18歳)
(2種登録) 186cm / 85kg



AEDを用いた救急法



臨時救護所(エアーテント)



災害救援車両

【連絡・問合せ先】

日本赤十字社埼玉県支部 西野・山田 TEL : 090-7255-1766 (広報担当者携帯)

E-mail : koho@saitama.jrc.or.jp TEL : 048-789-7117 FAX : 048-834-1520

取材連絡票

FAX : 048-834-1520

取材案件名	浦和レッズ選手が「命を守る赤十字」を体験
御社名	
部署名	
担当者名	
連絡先 ※今後当社から取材関連のご連絡をさせていただきます	TEL : e-mail :
媒体名	
取材目的・ご希望	
放送・発行予定日	<input type="checkbox"/> 令和8年 月 日 <input type="checkbox"/> 未定
スタッフ数・機材	人 (<input type="checkbox"/> カメラ ・ <input type="checkbox"/> スチール)
放送・発行内容の転載	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 応相談
駐車場	<input type="checkbox"/> 必要 (車種 : 、ナンバー :) <input type="checkbox"/> 不要